

令和6年度 学力向上総合推進事業<高校外国語>
授業力向上推進プロジェクト委員会

持続可能な「異文化理解・交流の促進」
～姉妹校とのオンライン交流を通して～



飛騨神岡高校 横山 貴大

1

「1 1 3」

= 本校の全校生徒数
県内でも有数の小規模校



飛騨神岡 = 岐阜県の最北端

2

2

姉妹校の締結までの経緯

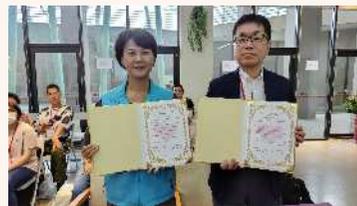
H 2 9 年「飛騨市」と台湾^{しんかんごう}「新港郷」
が友好都市を締結



台湾研修がスタート
(本校の生徒(最大5名)を新港郷へ派遣(5泊6日))



R 5 年本校と「新港芸術高校」
が姉妹校を締結



3

3



本校の国際交流行事一覧

- ・台湾研修 (例年8月初旬)
本校の生徒(最大5名)を新港郷へ派遣し5泊6日(ホームステイあり)で文化体験・観光を含む研修を行う
- ・姉妹校とのオンライン交流 ⇒ 今年度から新たに実施
無理ない範囲で良いものにしたい
- ・台湾大学生の訪問 (例年1月)
台湾・新港文教基金会のスタッフ(大学生)が飛騨市で研修をうける1週間程度ある日程の内、半日ほど本校の生徒と交流をする

4

4

テーマ設定の理由	5
<ul style="list-style-type: none"> ・ AI や翻訳機の向上により英語学習の意義を理解することが困難に？ 本校のように英語に対して苦手意識がある生徒や大学入試を受ける必要がない生徒が多い高校では尚更… ・ グローバル化に伴い異文化理解・交流の必要性の向上 英語をツールとして「異文化交流」の機会を与えることで英語学習へのモチベーションを底上げするのでは？ ・ 姉妹校との持続可能なオンライン交流を目指したい 「効果的」かつ「負担の少ない」交流を実現させたい 	

5

研究のねらい	6
<ol style="list-style-type: none"> ① 姉妹校とのオンライン交流やその前後指導を通して生徒の英語学習へのモチベーションを向上させる ② 異文化(特に台湾の文化)や異文化交流に興味を持たせ、来年度の台湾研修への参加を促進する ③ 担当者が代わっても行えるようなシンプルかつ効果的な(持続可能な)交流と指導を模索する 	

6

研究内容Ⅰ オンライン交流の企画と実施	7
<p>実施クラス：論理表現Ⅰ(2年生文理Ⅰ系列8名) ※相手校 1-3年生の参加希望生徒8名</p> <p>内容：お互いの「学校紹介、住んでいる町、国の紹介」及び「Q&A」を英語で行った</p> <p>日時：11月8日(金)15:10~15:50 ※台湾時間14:10~14:50</p> <p>回線：Webex ※1週間前に接続テスト(相手校の担当の先生と)</p> <p>次回：毎年この時期に行うことを提案 (年に1回がお互い無理がない回数で合意)</p>	

7

オンライン交流の様子	8
	

8

研究内容2 交流前後の授業での指導や準備・振り返り 9

交流前(5時間)

- ① スケジュールとオンライン交流の経緯・意義・目的・内容の説明
- ② 各グループでプレゼンの作成と練習、Q&Aの準備と練習
- ③ A L T に対してプレ発表会 ⇒ フィードバック ⇒ 修正

交流後(2時間)

- ① アンケートの実施
- ② 録画した交流の様子を視聴 (教材として使用)

9

研究内容2 交流前後の授業での指導や準備・振り返り 10



録画した交流の様子を動画編集ソフトに取り込み、
AIの自動字幕作成を使用 → 一部修正 → 生徒と視聴

10

研究内容3 データのアーカイブ方法の研究 11

・相手校の先生とのメールでのやりとりを全てワードで保存
(そのままコピペ可能)

・webex、カメラ、プロジェクターのセッティング方法、使用方法
など全て写真付きの説明文を作成

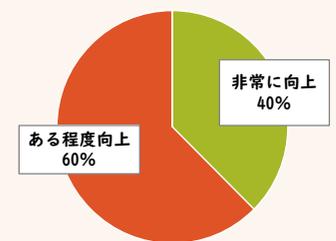


・今回のオンライン交流の様子を録画し動画を保存
交流で使ったパワーポイントや原稿も全て保存

11

研究成果① 生徒へのアンケート結果より 交流と前後指導を通して… 12

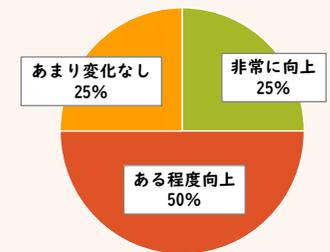
英語学習へのモチベーションは
向上しましたか？



■非常に向上した ■ある程度向上した
■あまり変わらない ■全く変わらない

⇒ 全員がモチベーションの向上を実感

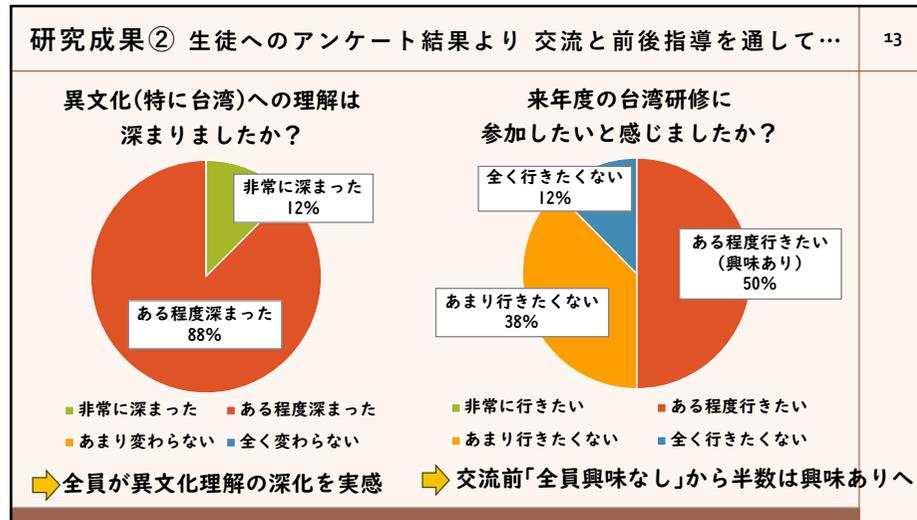
英語の力は向上しましたか？



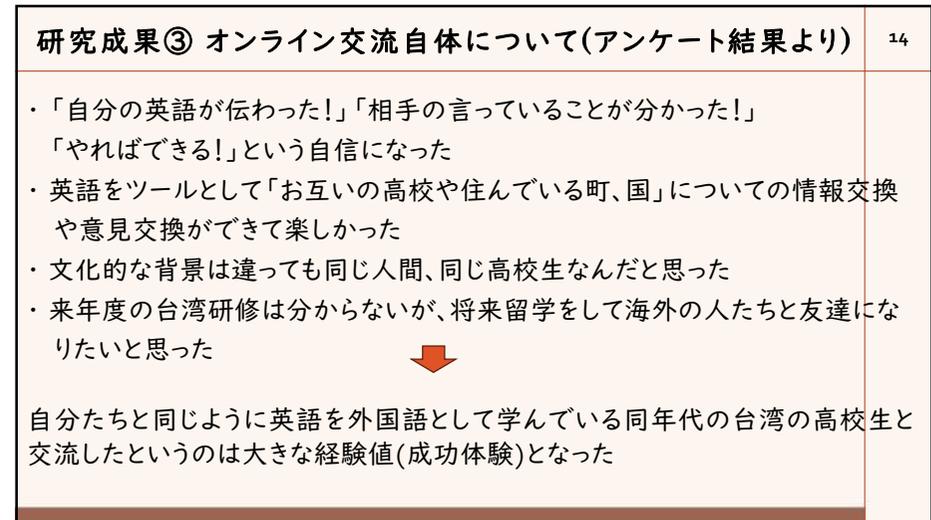
■非常に向上した ■ある程度向上した
■あまり変わらない ■全く変わらない

⇒ 英語力の向上には継続が必要

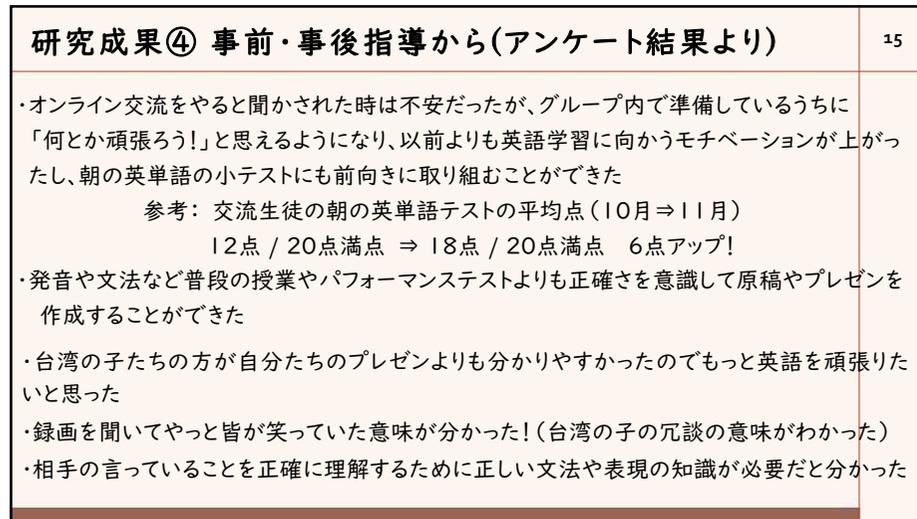
12



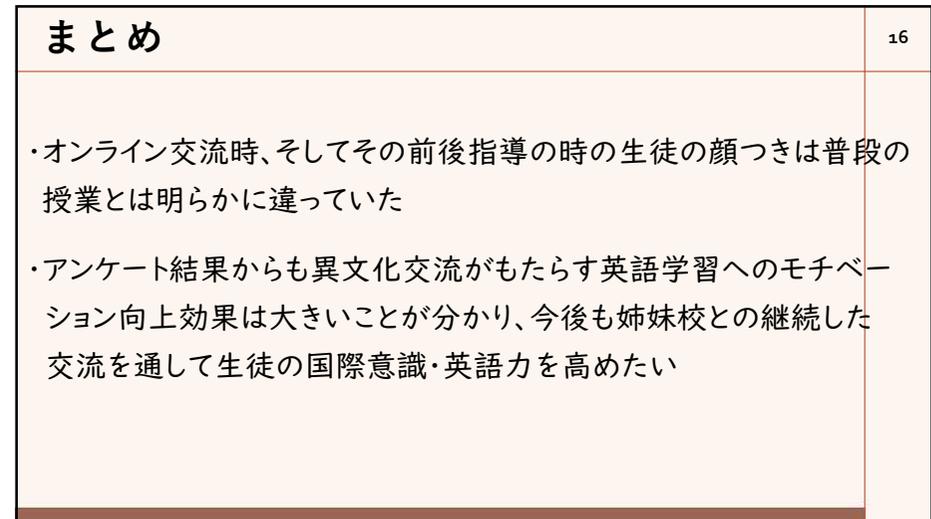
13



14



15



16